

# 未来への布石

# KIMASSI

Vol.112  
January

# KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS  
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

2012年1月

金沢問屋センターニュース

## 新年のごあいさつ

古賀克己氏旭日双光章受章

平成24年の経済見通し

辰年男 大いに語る

問屋まちスタジオを会場に赏月（シャンユエ）を開催

第8期「金沢商人塾」例会報告

バトンエッセー

(協)青森総合卸センターが視察研修／清掃活動&組合員社員交流会

うちのキラリンさん

第4回 (協)金沢問屋センター旗争奪 石川県新人学童野球選手権開催

キマッシカップオープンゴルフ／商社対抗ソフトボール大会／キマッシカップボウリング

事務局だより



## 事務局だより

# INFORMATION

### 7月

#### ●19日 理事会

##### 1.総務委員会より

- (1)景況調査について
- (2)組合員の退会について

##### 2.組合運営委員会より

- (1)会館の修繕について

##### 3.厚生委員会より

- (1)新入社員フォローアップ研修会と9月の行事について

##### 4.事業戦略委員会より

- (1)卸売業経営革新支援事業について
- (2)広報誌第111号の発行について
- (3)作品買い上げ並びにデザイン等制作依頼補助制度の創設について

##### 5.問屋町交通安全対策協議会より

- (1)役員人事と信号機設置要望について

##### 6.青年部会より

- (1)金沢美大との交流会について
- (2)永平寺修行体験について
- (3)若手社員交流会について

##### 7.事務局より

- (1)「金沢商人塾」について
- (2)組合員の従業員数調査結果について
- (3)ドコモショップ金沢問屋町店の地鎮祭について
- (4)事務局の夏季休日について
- (5)平田職員の退職について

##### ●28日 新入社員フォローアップ研修会(第1回)

### 8月

#### ●8日～12日 生活習慣病予防健診

【一般健診】30社 285名 【胃なし】11社 40名

【簡易ドック】16社 55名 【付加健診】3社 4名

【日帰り人間ドック】8社 29名

#### ●25日・26日 生活習慣病予防健診

【一般健診】22社 123名 【胃なし】11社 18名

#### ●29日～31日 一般健康診断

50社 454名(人数は9月分含む)

### 9月

#### ●2日 理事会

##### 1.総務委員会より

- (1)4～6月の収支実績について
- (2)景況調査の集計結果について
- (3)集団健康診断の実施について

##### (4)運転資金特別融資について

##### (5)出資金見合いの緊急融資について

##### (6)問屋神社秋季例祭について

##### 2.組合運営委員会より

- (1)町内一斉清掃について

##### 3.厚生委員会より

- (1)第37回商社対抗ソフトボール大会について
- (2)第7回キマッシカップ・オープンゴルフ(第23回ゴルフ大会)について

- (3)第6回キマッシカップ・ボウリング大会(第30回ボウリング大会)について
- (4)営業マン研修について

##### 4.問屋まちスタジオ運営協議会より

- (1)イベントの実施について

##### 5.青年部会より

- (1)若手社員交流会について
- (2)公開セミナーについて
- (3)清掃及びバーベキュー企画について

##### 6.事務局より

- (1)金沢市副都心北部直江土地区画整理事業について
- (2)「金沢商人塾」第8期開講式、並びに第1回例会の結果報告と第2回例会について

##### ●5～9日 一般健康診断

### 10月

#### ●4日 理事会

##### 1.総務委員会より

- (1)組合員の退会について

##### 2.組合運営委員会より

- (1)不燃物有料回収について
- (2)不燃物回収業者の紹介について
- (3)青年部会の町内清掃活動について

##### 3.厚生委員会より

- (1)社員特別研修会の実施について
- (2)営業マン研修の開催について
- (3)弓取保育園の入園申込みについて
- (4)第37回商社対抗ソフトボール大会について(結果報告)

- (5)第7回キマッシカップ・オープンゴルフ(第23回ゴルフ大会)について(結果報告)

##### 4.事業戦略委員会より

- (1)美大学生による、金沢流通会館駐車場整備コンペティションについて
- (2)青年部会の町内清掃活動について

##### 5.開発プロジェクトチームより

- (1)しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2011」について

##### 6.問屋町交通安全対策協議会会長より

- (1)違法駐車取り締まりについて

##### 7.問屋まちスタジオ運営協議会より

- (1)イベントの実施報告について

##### 8.青年部会より

- (1)公開講演会について
- (2)問屋町清掃活動&組合員交流会(バーベキュー)について

##### 9.事務局より

- (1)「金沢商人塾」第2回例会の結果報告
- (2)第4回石川県新人学童野球選手権大会の開催と当組合の支援について

##### ●12日 町内一斉清掃

##### ●15日 営業マン研修会 9社26名参加

##### ●18日 新入社員フォローアップ研修会(第2回)

##### ●20日 不燃物有料回収

### 11月

#### ●2日 理事会

##### 1.総務委員会より

- (1)中間決算について
- (2)組合員の退会について
- (3)出資金見合いの緊急融資について

##### 2.厚生委員会より

- (1)社員特別研修会の実施について
- (2)第6回キマッシカップ・ボウリング(第30回商社対抗ボウリング大会)について
- (3)経営者研修会の開催について

##### 3.事業戦略委員会より

- (1)アートパーク「ムック」美大学生展示作品買い上げについて
- (2)グッドマナー宣言について
- (3)広報誌第112号の発行について
- (4)卸売業経営革新支援事業で講演会を開催
- (5)美大学生による金沢流通会館駐車場整備コンペティションは12月10日(土)開催

##### 4.青年部会より

- (1)問屋町清掃活動&組合員交流会(バーベキュー)について
- (2)11月定例会予定(視察研修事業)について

##### 5.事務局より

- (1)11月18日(金)ドコモショップ金沢問屋町店オープンセレモニーについて
- (2)「金沢商人塾」次回は11月26日(土)タビオ(株)代表取締役会長 越智直正氏
- (3)石川県新人学童野球選手権の準決勝と決勝戦、11月19日(土)13時から小松ドームで開催

##### ●19日 社員特別研修会

於 ジャルダン ボール・ボキーズ

18社 60名参加

## 編集後記

先日、仙台へ出張に行ってきました。空港から仙台駅へと向かう鉄道に乗りましたが、車窓からの田園風景は津波の爪痕が多く残る地域でもあり、今更ながら震災被害の大きさをまざまざと物語っていました。その風景を見る限りまだまだ復興には時間を要すると想像しましたが、いざ仙台の街中に行ってみると5月に訪れた時より活気が出てきたというのが印象でした。現地のお客様にお伺いしても復興はまだ時間が掛かるが、震災以降、人が集まり経済的にもプラス方向に転じているとのことでした。

地震大国である我が国は、過去幾度にもわたり自然災害の復興に挑んできました。その真摯な姿からは超えられない苦境は無いのだと語りかける後ろ姿に、逆に勇気を分けてもらう結果となっていました。(K.Y)

## 組合事務局 新職員紹介

縁があり11月から組合事務局に入りました。まだまだ未熟者ですから、皆様が何かお気づきの点があればご指摘いただければ幸いです。若さと元気を活かして頑張りますのでよろしくをお願いします。



脇田 大志

新年明けましておめでとつござい  
ます。平成24年の新春を迎え、皆様  
に謹んでお祝いを申し上げますと  
もに、旧年中賜りましたご厚誼に対  
し心より御礼申し上げます。

## 平成23年を振り返って

―6重苦にあえぐ日本

昨年、日本経済を振り返ってみま  
すと、リーマンショックに端を発し  
た需要蒸発後、少しずつ経済再生の  
足掛かりを見つげようとしていた矢  
先、未曾有の巨大地震、津波、原子  
力災害のトリプルショックが日本を  
直撃し、昨日とは全く別の世界が始  
まりました。その苦境の中で電力不  
足など、いわゆる6重苦はモノづく  
り企業を翻弄させ、グローバル競争  
の中で日本製が徐々に力を無くしま  
した。少子高齢化、人口減少は働き

## 平成24年の見通し

―不確実性の中に  
チャンス、明るく！

本年は、このような昨年の流れを  
受けて景気回復が足踏み状態からの  
スタートとなり、年度後半には震災  
からの復興需要がピークを超え、世  
界的な緊縮財政の動きが足かせとな  
り景気の減速感が鮮明になります。  
また、リスク要因(＝下押し圧力)  
が強ければ、さらに景気が冷え込む  
懸念を想定しておく必要があります。  
日本経済のリスク要因は、海外の政  
治と経済、日本の政治の3つに区分  
して考える必要があります。

第一の海外の政治リスクは、本年  
は台湾、ロシア、米国、韓国、フラ  
ンス、中国等主要国の選挙イヤーで、  
各国は国民への求心力を強めるため  
に内向きな傾向を強め(＝通貨安競  
争を強め)、円高は止まらず1ドル  
70円、1ユーロ100円を切っても  
不思議ではありません。

※昨年12月初旬に寄稿いただきまし  
た。

## 新しい事業も着々と

―収益事業の一つとして、

昨年11月に組合が店舗を建てて、賃貸する  
というところを行いました。皆様ご存  
知のドコモショップでパナソニック  
テレコム(株)に借りていただいて  
あります。これまでは空き地のまま  
もしくは組合が購入した社屋をその  
まま賃貸することはありましたが、  
賃貸のために建物を新たに建てたこ  
とはなく、今回が初め  
のケースです。今後、  
組合財務の安定のため  
には、このような事業  
も選択肢のひとつとし  
て考えられるかもしれ  
ません。

最後にになりましたが、  
石川県をはじめ金沢市  
ならびに関係機関の皆  
様方には、一層のご指  
導、ご支援を賜ります

よう衷心よりお願い申し上げます。  
また、組合員並びに関連企業の皆様  
方のますますのご健勝とご繁栄をお  
祈り申し上げます。新年のご挨拶と  
させていただきます。

# 新年のごあいさつ

協同組合金沢問屋センター理事長 **伊藤 淳藏**

## 中期ビジョン実現に向けて チャレンジを続ける

新年あけましておめでとつござい  
ます。  
平成24年の新春を迎え、謹んで新  
年のご挨拶を申し上げます。  
皆様には、清々しい新年を迎えら  
れましたことを心よりお慶び申し上  
げます。

一年を振り返ってみますと、一番  
心に残っているのは3月11日に発生  
した東日本大震災ではないでしょう  
か。一日も早い復興が待たれます。  
ほかにも超円高とタイの洪水等いろ  
いろな事件があった2011年でし  
た。そのようななかで、なでしこジ  
ヤパンがワールドカップで世界一に  
なったのは大変喜ばしいニュースで  
した。また、大阪のダブル選挙で橋



新年互礼会にて(1月4日)。



下氏が圧勝したことは、地方から改  
革がおきる兆しのようなであり、大い  
に期待するところです。  
この数年、「きれいな街づくり」  
という中間ビジョンを掲げて組合は  
動いていますが、昨年は、まず3月  
に金沢美術工芸大学との連携により  
「問屋まちスタジオ」が開設され、  
4月には旧交番跡地の「問屋まちア  
ートパーク」にモニユメントを造り  
「murku」(ムック)という愛  
称が公募により決まりました。また  
A・T・K(アーティスト、イニ  
シアティブ、トイヤ、カナザワ)とい  
う組織が設置されてイベントの企画  
に携わり、9月には「賞月」(シャ  
ンユエ)というイベントを催しまし  
た。その内容の中でも特に、バスに  
乗って走りながら建物壁面のアニメ  
の映写を観るパフォーマンスは大変  
好評で、500名を超える人で賑わ  
いました。今後は問屋ま  
ちスタジオを中心として  
イベントを開催したり、  
作品を展示して、一般の  
方にも公開するギャラリ  
ーとして運営していく予  
定にしております。また、  
1月28日には流通会館駐車  
場の見栄えをよくするため  
のコンペティション開催を  
計画しており、美大生の皆  
さんのアイデアが実行に  
いければ、問屋町全体の景  
観アップにつながるものと  
期待しております。

### 旭日双光章受章



(株)アルプ企画 社長 **古賀 克己氏**

北陸最大の臨床検査の会社、アルプを  
1974年に創業し、医療を支える縁の下の力  
持ちとして検査の普及発展に力を注いだ功績  
で受章されました。日本衛生検査所協会の常  
任理事や北陸支部長も30年務め、「これからは若い人材の育成に力をいれたい」と語られて  
います。また中国・大連との交流に熱心で、北  
陸経済界との橋渡し役としても大きな存在と  
なっておられます。誠にありがとうございます。

# 世界的な財政緊縮の動きが 足かせとなり景気減速

北陸銀行金沢問屋町支店 支店長 **坂本 嘉和**

手を失い、長引くデフレの下での税  
収不足と、財政健全化への政治的決  
断ができないまま債務が拡大し続け  
たため、日本の財政は悪化の一途を  
辿っています。

この困難にあつて、政治には構想  
力や強いリーダーシップが必要で、  
今こそ政治の力量が問われている時  
だと思えますが、TPP対応を見て  
もわかるように、逆に「今の政治に  
日本を守りきれるか」という危惧が  
浮き彫りになった1年であったよう  
に思います。

第二の海外の経済リスクは、ドミ  
ノ式に広がるギリシャ発の欧州経済  
危機、過去最高水準の円高、タイの  
洪水という新たな三重苦です。グロ  
ーバルソフリンリスク(政府債務の  
信認危機)が世界経済を覆い始めて  
金融市場の緊張を高め、事態の収束  
時期が見えません。特に欧州債務危  
機は最大のリスク要因で日々事態が  
悪化し、解決への道は糸のように細  
く、もはや出口がないと表現しても  
構わない状況にあり、ユーロを守り  
きれなければリーマンショックを超  
える大混乱に陥る可能性があります。  
中東・北アフリカでの民主化運動の  
リスクも見逃せない要因の一つです。

第三の日本の政治リスクは、首相  
が頻りに交代し、衆参逆転国会によ  
る不安定さです。歳出削減や増税を  
進めるには長期政権を築くことが前  
提になりますが、場当たり的な対応  
を繰り返す政治機能の不全はそのま  
ま国家の衰退に繋がっています。

価格競争力の弱さを乗り越えるた  
めにも、これからますます質の向上  
を通じた差別化に活路を見出すべき  
だと思えます。いづれにせよ、チャ  
ンヌもまた「不確実性」の中にある  
とも言え、明るく考えることが大事  
なのではないでしょうか。そのお手  
伝いをすべく北陸銀行は、組合員の  
皆様の経営課題にに応じた各種提案や  
情報提供を積極的に行い、地域経済  
活性化のために努力していく所存で  
す。



よう衷心よりお願い申し上げます。  
また、組合員並びに関連企業の皆様  
方のますますのご健勝とご繁栄をお  
祈り申し上げます。新年のご挨拶と  
させていただきます。

# 辰年 男大いに語る

## 人生の節目？ いや、通過点です。

株式会社たなかや 専務 田中清一



昭和39年生まれ、年男の抱負は：無い。冒頭から身も蓋もないが、やりたいこと、やらなきゃいけないことは既に始めている。つまり、何か事を起こすに「来年から」「今年こそは」という節目を定めて臨むのではなく、思い立った時に始めてしまう習慣が身に付いた、ということなのだ。

放っておくとすぐ怠けてしまう自身を叱咤し目標を定めて精進した結果、半年余りで健康な身体、闘える身体を手にすることができた。良くしたもので、結果が目に見えてくると身体ばかりが日々の様々な取り組みにも変化が起きてきた。端的に言いつと時間を惜しむようになったのだ。

## 今だからこそ伝えたい、和装の楽しみ

小川株式会社 常務取締役 小川卓志



新年、明けましておめでとーございます。問屋団地の皆様方には大変お世話になっております。この場を借りてお礼を申し上げます。

力しています。きものは洋服に比べるところでも手間や費用がかかります。ですが、いろいろなことが便利になりボタン一つで用事が済ませられるようなことが増えた現在だからこそ、その面倒くささや手間を貴重なものとして楽しめるゆとりを、大変スピードの速いこの時代に持つていければと思います。

## どんな状況にも対応する

## 頑強な企業を目指して

株式会社東山商会 取締役 道上 聖



新年あけましておめでとーございます。「年男大いに語る」の原稿依頼を受けたときは、問屋町青年部会有志による仙台の視察を終えたばかりだったので、「あけましておめでとーございます」と書いてよいものだろうかと悩みました。今年は震災のことと忘れてはいけないけれど、それを感じさせない元気で良い年にしたいです。

借りて先にお詫びしておきます。「ごめんやー」。私が思う「どんな状況にも対応する頑強な企業」とは、個々の会社の経営者が思い描く理想の企業だと思えます。ちなみに私の理想とする企業像は、負債が少なく、収益があり、最後が一番大事ですが、お客様が安心できる企業です。そんな企業ができれば世話はないですが、簡単じゃないからこそ、その理想に向かって努力します。逆に改善を感じていない企業、もう改善の余地がないと考えている企業は衰退する一方です。後は恥を捨て、わからないことは素直に人に聞くことです。餅は餅屋といいますが、問屋町の皆様や友人

## 問屋まちスタジオを会場に 賞月(シャンユエ)を開催

～金沢美術工芸大学が企画協力～

当組合が主催し金沢美大の企画協力のもと、9月16日(金)から18日(日)までの3日間、問屋まちスタジオを中心に「賞月」(以下、シャンユエ)と銘打ったイベントを開催した。



問屋まちスタジオでは、美大生の作品が展示され中国茶が振舞われた。



3人の招聘作家によるダンスパフォーマンス。

シャンユエとは中国語で月見を意味する言葉。金沢美大生の作品を月に見立て、組合員及びその家族と地域住民に楽しんでもらうため、期間中毎日夕方6時半から9時半まで各種のイベントが繰り広げられた。

### イベントの内容

- ① 問屋まちスタジオ内で美大生のアート作品を展示
- ② ダンスパフォーマンス(問屋まちスタジオ前道路とスタジオ2階で演舞)
- ③ Midnight Tours(走るバスから問屋町の建物に映像作品を映写、参加者はバスの中から鑑賞する)
- ④ 中国茶、お菓子の振舞い



まもなくバスが出発。

今回の企画は大変好評で、連日幼稚園児、小学生を連れた家族連れで賑わい、延べ500名以上の観客動員があったものと思われる。特に「Midnight Tours」は大人気で、20分間隔でバスを走らせたがすべて満席の状態だった。最終日には森源二金沢副市長がお見えになり、バスに乗って鑑賞したあと大変なお褒めの言葉があった。

また、21世紀美術館の近藤課長と同行された韓国の映像ディレクターがこの企画に注目、韓国のチョンジュで行われた映像祭に担当者が招待されるほど好評だった。

# 第8期「金沢商人塾」例会報告

第2回 9月17日(土)

人間力を鍛える  
—企業再生の鍵は人材にある  
社会教育研究所所長 智慧の和塾主宰  
張 琴氏



人間力とは  
「困難を乗り越える力」であり、社員の人間力を鍛え組織力として結集させるためには、①一人ひとりの強みを見逃さないこと ②多様な能力を組織の中でうまく組み合わせること ③挑戦の場を与えることである。

リーダーとは、一人ひとりの非凡なる力(異能)を見いだし個性を発揮させる存在。人材育成の王道とは、「理念」を共有しつつ全社員の異能を活かし、新しい価値を創造し組織の力に変えていくことであると解説した。

第3回 10月15日(土)・16日(日)

経営者・管理者の繁栄の決断  
『自社の「怠慢不況」を叩き出せ!!』  
(株)日本ユニーマン経営研究社  
大塚 徹氏



石川県青少年総合研修センターでの合宿研修に30名が参加。現在の経済は不況ではなく、やるべきことがやられていない「怠慢不況」であるとして、次の通り解説した。

① いかなる時代にも色あせることのないものは、人の心に訴える技術・商品・サービス

最後に経営とは商品だ、どこよりもサービスよく親切にとの言葉で締め。齢70を越えてもなお靴下を探究する心に驚かされるばかりだった。

第5回 12月17日(土)

渋沢栄一の『論語と算盤』により未来を拓く  
シフサワ・アンド・カンパニー(株)  
代表取締役 渋沢 健氏



渋沢栄一の代目子孫に当たる健氏は、栄一の書に「最近の社会は元気がなくなっている」「政府まかせになっ

② 生き残る条件は、人材育成と一つの業態をことん磨き上げること。  
③ 量の拡大から質の拡大へ考えを変える。  
④ 意識の改革、やり方、行動を変え、永遠にやり続ける。

初日の講義の後に行った、講師を囲んでの食事会や各部屋での懇親会では、若干アールコールが入ったこともあり異業種交流として大変盛り上がった。

最後は「職場環境を良くし業績をアップさせるには?」というテーマでブレインストーミングを行いチーム毎に発表、講師の講評で合宿を終了した。

第4回 11月26日(土)

人生お一人様一回限り  
タビオ(株)  
代表取締役会長 越智 直正氏



氏は15歳で靴下問屋の丁稚になり28歳の時に総合靴下卸売「ダンソックス」(現在のタビオ株式会社)を創業、まさに靴下一色の人生を送ってきた。ある日得意先の店に棚卸に訪れた氏は唖然とする、朝から取り掛かった棚卸が夕方になっても終わらないのだ。そこで書店における書籍の管理に在庫管理のヒントを得て「商品管理カード」を採用。さらに在庫管理を徹底することで売れ筋商品の分析にも活用する等、サプライ・チェーン・マネジメントという言葉(SCM)を知らないうちに実践してしまった人物だ。

氏は「賢者は歴史に学ぶ」と語り、さらに論語を交えながら勝機(商機)の見定め方が肝心だとも解説した。そして論語などは自分自身が理解でき納得できるものだけで十分だと付け加えた。

踏むとして、持論である60年周期について説明された。

さらに現状維持と持続性の違いについても話をされた。現状維持はあくまで将来の先食いツケを回すことではなく、今日必要なのを見越した長期投資や資源の再分配をすることによる持続性だ。

最後に論語を引用して、物事は知ることが大事、知ることより好きであること、好きであることよりも楽しむことが大切だ、楽しむ人は人を引き寄せると結んだ。オズの魔法使いなど分かりやすい例えも多く、充実した講義だった。

今後のスケジュール

● 第6回 平成24年2月25日(土)  
講師 / (株)武蔵野  
代表取締役社長 小山 昇氏  
『強い会社にするための儲かる仕組み作り』

## 11/25(金) (協)青森総合卸センターが視察研修のため当組合を訪問

11月25日、(協)青森総合卸センター国内経済視察会のメンバー16名が視察研修のため当組合を訪問された。当組合の概要のほか、金沢商人塾や金沢美術工芸大学と協定したアートキーワードとする街づくりについて説明したあと、組合運営について2時間にわたり熱心な意見交換が行われた。

## 10/30(日) 青年部会主催 問屋町清掃活動&組合員社員交流会(バーベキュー)開催

10月30日(日)に問屋町清掃活動とバーベキュー大会を開催いたしました。



組合員16社と北國・北陸両銀行ならびに問屋まちスタジオの金沢美大メンバーも加わり、総勢約100名が清掃に汗を流し、バーベキューで参加者同士の交流を図りました。皆様ご苦労さまでした。

# バズンエッセー Vol.13!

## 不変の真理にひかれて



泰和ゴム興業(株) 藤本 博司

回このようなイベントが行われるなら50年後で自分の寿命の保証はなく、今回限りという思いも手伝って妙な気合を入れて見学に及んだ。

昨秋のことになるが、上野の東京国立博物館にて開催されていた『法然と親鸞—ゆかりの名宝—』という展覧会に胸躍らせながら訪れた。ビジネスの日常では宗教に関して話すことは少ないが、代々真宗大谷派の家で育ち幼い頃から可能な限りの法事に正座を崩すことなく参加してきた。年齢四十を過ぎた近年、特に浄土真宗への思いや興味が深まりつつあったところに、関東にて縁のあったお寺の住職から「所蔵している絵画(重要文化財)を同展に出品協力している」と聞いたことがきっかけでこの度の訪問に至った次第である。北陸地方は一向宗と呼ばれた頃から信者が多いとされているが、古くから受け継がれた血が騒いだのである。何か何故か不思議な興奮を覚えながら博物館の特別展示室へ歩を進めた。

西暦という浄土宗の祖である法然は一二二二年没、その弟子である浄土真宗の宗祖親鸞は一二六二年没というところでこの特別展は法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌の合同記念行事である。したがって次回

## まずは“聞く”、そして元気良く明るく



川上産業株式会社 中倉 将志さん

建材から肥料へと担当が変わって2か月、少しずつ顔を覚えていただき、ようやく信頼関係ができてきたのではないかと思います。肥料は種類が多く1つひとつの特性もまったく違います。お客様は土壌や環境に合わせて独自の使い方をされており、言わば相手の方がプロ。こちらから話をするよりも、まず「聞くこと」を心がけています。幸い、うちで扱っている肥料はリピートが多い。きめ細かいデリバリーを心がけ、あわてず勉強を重ねて、自分から提案ができるようになりたいと思っています。

モットーは元気良く明るく。農業をされている年配の方々からすれば、まだ入社5年目の若造です。注意されることも度々ですが、下を向かず明るく振舞っていけば心も通じると思っています。

## 情熱が夢実現の原動力!



有限会社 ネーミングこしの 越野 真伍さん

刺繍データ作成等を担当、複雑でバージョンアップが頻繁な刺繍ソフトに四苦八苦の毎日です。先日、自分で作成した自衛隊関係のデータがTVに映り感激しました。入社2年目でまだまだ勉強不足ですが、受注が増えている複雑なマークや大きな模様に対応できる技術を少しでも早く習得したい。また最近では国際電話もあり、今さらながら英語力の必要性も感じています。

変化が激しい今日だからこそ仕事にも「感激性」と「情熱」が必要だと思えます。好きな言葉は「情熱を持つ1人は、情熱を持たない100人に勝る」。不安感漂う日本ですが、私たち若い世代が情熱を持って夢の実現を目指していけば、きっと明るい将来が待っているのではないのでしょうか。

うちのキラリンさん 問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します

# 第4回 (協)金沢問屋センター旗争奪 石川県新人学童野球 選手権 開催

## 4代目王者は富陽学童野球クラブに

第4回となる石川県新人学童野球選手権大会は、10月29日(土)に内川野球場で行われた開会式を皮切りに熱戦がスタート、11月19日(土)に小松ドームで行われる準決勝、決勝戦を目指して16チームが激突した。

当組合の学童野球への支援は組合完成40周年記念事業として始められたもので、これからの日本を背負って立つ青少年の「心・技・体」の育成を担うという意味を込めて、平成30年までの10年間にわたり、毎年この大会のメダル作成、ポール、会場費、審判費などを寄贈することになっている。

10月29日と30日の2日間にわたる1、2回戦は、石川県下158チーム、約3,000人の中から勝ち抜いてきた16チームによりトーナメント方式で行われた。さらにその中から勝ち進んだ4チームが、11月19日に小松ドームで対戦。準決勝は「七塚はまなす」対「富陽学童野球クラブ」、1月津ヶ丘少年野球クラブ」対「穴水学童野球クラブ」の顔合わせで行われた。接戦となった決勝戦では、「富陽学童野球クラブ」が「月津ヶ丘少年野球クラブ」を3対2で破り4代目の王者となった。

今年も組合を挙げて大会の支援を行いますので、皆さんの応援をお願いします。



昨年優勝の西南部サンボーイズから優勝旗の返還。



開会式で伊藤理事長があいさつ。



大屋クラブの富島爽楽主将が元気良く選手宣誓!



優勝した富陽学童野球クラブ。おめでとうございます。



このメダルを手にするのは?

# 第37回 商社対抗ソフトボール大会開催

第37回商社対抗ソフトボール大会は9月10日(土)に、8社9チームが参加し、金沢市営専光寺ソフトボール場で行われた。決勝戦では(株)丸菱が、連覇を狙う王者(株)つくーるに10対9で競り勝った。



最高殊勲選手賞に輝いた高橋秀幸さん。

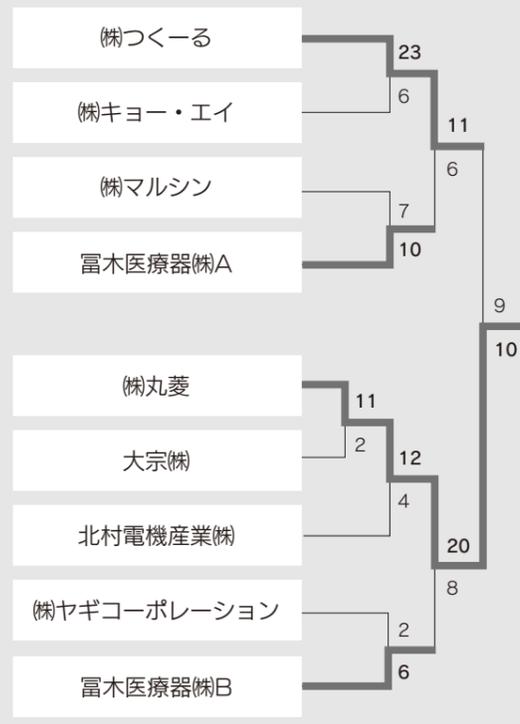


おめでとうございます (株)丸菱チーム!!



接戦を制して優勝した丸菱チーム。

- 【結果】**
- 優勝 (株)丸菱
  - 準優勝 (株)つくーる
  - 第3位 富木医療器(株)A 富木医療器(株)B
  - 最高殊勲選手賞 高橋 秀幸 (株)丸菱
  - 打撃賞 堀 太平 (株)丸菱
  - 敢闘賞 石田 将之 (株)つくーる



# 第7回 キマツシカッパ オープンゴルフ開催

第7回キマツシカッパ・オープンゴルフが9月18日(日)に、22社26組52名が参加してゴルフ倶楽部金沢リンクスにおいて行われた。競技はダブルペリア方式で行い、参加者は各々腕を競い合った。



**【結果】**

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	高桑 幸一 (株)キヨー・エイ	38	37	75	3.6	71.4
準優勝	柳瀬 彰一 問屋センター事務局	46	39	85	13.2	71.8
第3位	中川 孝志 大宗(株)	46	45	91	19.2	71.8

# 第6回 キマツシカッパ ボウリング大会開催

第6回キマツシカッパ・ボウリングは、10月13日(木)に19社38チーム114名(男性71名・女性43名)が参加し、マンボウ金沢において行われた。昨年度に引き続き、会場を賞し切りにしての開催となった。



- 富木医療器(株) Aチーム
- 【団体の部】**
- 優勝 富木医療器(株)A 910点(平均得点151.7点)
  - 準優勝 (株)オータニ 907点(平均得点151.2点)
  - 第3位 (株)つくーる 872点(平均得点145.3点)



- 【個人男子の部】**
- 優勝 泰和ゴム興業(株) 東 正夫 390点(167点・223点)
  - 準優勝 富木医療器(株) 井上 隆成 363点(174点・189点)
  - 第3位 (株)オータニ 山口 靖浩 359点(178点・181点)



東正夫さん

- 【個人女子の部】**
- 優勝 ウィルビー(株) 古武奈巳代 355点(222点・133点)
  - 準優勝 大宗(株) 鍛冶亜矢子 284点(129点・155点)
  - 第3位 糸生(株) 江丸 美子 268点(112点・156点)
- 古武奈巳代さん ※( )内、1ゲーム得点・2ゲーム得点

